

(様式2)

令和6年度学校応援団 特色ある実践事例

学 校 名	実 施 月 日	学校応援団参加延べ人数
柳井市立余田小学校	令和6年6月27日～	20名
1 活動名 横笛・獅子舞・竹太鼓 指導 2 活動内容 ○ 4年生が横笛・獅子舞を地域の方に教えていただき、地域に伝わる伝統芸能のひとつを受け継いでいる。6月から指導が始まり、横笛の曲と獅子舞の舞を習い、一学期が終わる頃には横笛に合わせて獅子舞を舞うようになる。夏休みに入ってから3日間、練習を行い、夏休みの地域の夏祭り「コミュニティのタベ」のステージイベントで披露する。4年生の人数が少ないときには、5・6年生も参加し、指導者と共にイベントを盛り上げる。 2学期は、まず9月末の敬老会での披露を目標に練習を行う。この時点で児童だけでの発表が難しい場合に、指導者の方が演奏の補助をしてくださる。その後多くの曲に挑戦し、11月の学校行事「余田っ子フェスタ」では、横笛・獅子舞と共に竹太鼓も披露する。当日の発表がうまくいくように、竹の太鼓・竹のバチの準備も指導者の方が準備してくださっている。 3学期に入ると、2月の参観日で行う「10才のつどい」を目標に練習に励む。この頃には、ほぼ全員が横笛を吹き、獅子舞を舞うことができるようになっている。 獅子舞の獅子頭は、学校の側にある「名合八幡宮」から毎年お借りしている。八幡宮は児童にとっても身近な場所である。横笛・獅子舞は地域の伝統文化であり、それを受け継ぐ大切な学習となっている。  3 こどもたちの声 ○ はじめは音が出ないので難しかったが、一生懸命練習して吹けるようになったので嬉しい。 ○ 横笛を家族みんなで練習した。お母さんも上手だった。 ○ 福田さんのように格好良く獅子舞を舞いたい。河村さんのような音色で笛を吹きたい。 4 学校応援団の声 ○ 獅子舞を楽しく元気に舞ってもらえたらうれしい。伝統を引き継いでいってほしい。(獅子舞指導者) ○ 子どもたちが毎年真剣に取り組みががんばっているのがうれしい。大人になっても伝えて欲しいし、自分の後を継いでほしい。(横笛・竹太鼓指導者)		